

## ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

## 礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局  
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201  
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817  
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



お正月にみんなで楽しく遊びました(カンボジア孤児院)

皆さまの御支援、御協力、いつもありがとうございます。

カンボジア孤児院の子ども達5名が、7月中旬から8月初旬にかけて、日本に来ることになりました。来日の際は、いくつかの地域で報告会が行われる予定で、子ども達も大変楽しみにしているようです。

今回の来日が、子ども達の将来の働きに、非常に有意義なものとなることを確信しています。子ども達の来日の為に、今回特別に御支援して下さった方々には本当に感謝申し上げますと共に、また、いつも御支援して下さっている皆さまに、今一度、心から感謝申し上げます。

さて私共の各孤児院の働きは、多岐にわたり、様々な活動をしておりますが、各孤児院からの費用のお願いは、緊急をよするものも多くあります。特に普段の生活活動の基盤であります運営費は、必要最低限すら厳しいことも多くあります。

既に多くの御支援に与らせていただいている私共ではありますが、何卒、これからも御支援・御協力、よろしくお願い致します。



## カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

4月中旬は、カンボジアの正月でした。多くの子ども達は、里帰りする先が無い為に毎年孤児院で新年を迎えています。今年も美味しい料理の献立を考えたり、ささやかでもプレゼントや、楽しく一緒に遊べるように準備しました。子ども達は大変喜んでくれました。スタッフ達が交替で休みに入る為に通常より少ない体制の中で、病気や事故からも守られて過ごすことが出来ました。皆様のご支援を心から感謝申し上げます。2歳の女の子が、時折腹痛を訴えることがあり、正月前に病院を受診しました。そこでは、腸が下がっている為に手術の必要があるという診断でしたが、正月が明けてから今度は別の小児病院を受診してみました。そこでは、まだ小さいので様子を見ながらも手術が必要ならば4~5歳になってからでもいいから、ということでした。子どもによっては、成長する過程で治って行くこともあるということでしたので、出来れば手術しなくても良いように願いつつ、さらに彼女の成長を見て行きたいと思っています。



お正月にプレゼントをもらって喜ぶ子ども達

## フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピンの全17地域から選抜された中学1年生から高校生3年生の生徒が参加して、5月4日までダバオ市で全国スポーツ大会が行われました。

この大会のために、各学校では、来年度の学校登録を早めにするようにと通知していました。今回はダバオ市の主催で行われ、私たちはとても誇りに思っています。

5月13日にフィリピンの選挙が行われ、6月30日から新体制になります。

2019年度は49名を就学支援する予定です。

小学生28名、中学生11名、高校生10名です。このために学校登録費、授業料、学校行事参加費、靴や制服、その他学用品のために、\$ 7,397.92(約83万円)が必要です。

子どもたちの将来のために、是非皆様の暖かいご支援をよろしくお願いいたします。



スポーツ大会の様子

## ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心より感謝申し上げます。ザンビアの礎の石孤児院はこの4月より、名称をコーナーストーンオブホープ(Cornerstone Of Hope)と改名し、新しい歩みに入りました。日本の国際NGOである“AAR(難民を助ける会)”から思いがけず移譲される事となった、孤児の学資支援のための養鶏、製粉場よって、スラム地区の孤児たちを救済していく新しい働きも始まっています。今年は、沢山の新しい事が起きていくので、とてもワクワクしています。高校を卒業したスティーブとデビッドは、日本での技術研修の夢をまだ持ち続けています。特に農業分野を希望していますので、関心のある方は事務局にお知らせ頂けると幸いです。先日、ルサカ孤児院のある地区の国会議員から連絡が入り、40人程のストリートチルドレンを警察に収容しているから、受け入れて欲しいと要請されました。既に50人保護している中で、非常に厳しい判断でしたが10人程急遽受け入れることにしました。食費等、どうぞ引き続きご支援をお願い致します。



AARからの移譲セレモニーにて

## ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。雨が降らなくなり空気が乾燥しつつありますが、昨日の夜久しぶりに雨が降りました。朝晩は20度以下と涼しくなったり、日中は依然として30度を越す日差しの強い暑さとなる陽気で、体調を崩し寝込んでしまいましたが、もう回復してきています。アラサトゥーバ市の中心街のマーリオさんのお店に継続して訪問しています。顔が広いので、お店に来られた方々と雑談したりする中で、よいポルトガル語の練習の機会となっています。その足で街を歩いていると、以前親しくさせていただいていたことのあるご夫妻と再会しました。ご夫妻とも公立高校の教師で定年退職され、顔が広いので、立ち話をしていると、色々な人が挨拶をして行かれます。時には立ち止まって雑談が始まることもあります。郊外の土地をお持ちで、メンテナンスに詳しい方々です。グアラパスの土地のことは以前お話したことがありますが、孤児院の法人設立のために役員が8人必要であることをお話しました。さらに協力者を募っていきたいと思います。



協力してくださっているご夫妻と松本さん